

行事／取組名称	平成27年度屋久島実習（「エコツーリズム技法」） （「大学コンソーシアム岡山」に加盟の大学学生が対象）		
担当部門・機関	先進科学教育部門・岡山理科大学		
開催日時・期間	平成27年9月1日(火)～ 9月6日(日)	会場	鹿児島県屋久島
主催	科学トライアングル岡山 岡山理科大学サテライト部門	後援	
共催	岡山理科大学科学ボランティアセンター		
概要			
<p>大学コンソーシアム岡山に科目提供している「エコツーリズム技法」の屋久島実習を実施した。2大学の24名が参加し、岡山からの同行教員3名と屋久島の現地講師3名が指導を担当した。屋久島実習の前に、事前講習として、説明・講習会（4/26）、キャンプ講習（5/16～17）とスノーケリング講習（6月末～7月）を行った。また、実習終了後に、事後講習となる報告会（9/26）を開催した。</p>			
参加者			
<p>同行教員 西村直樹：岡山理大・自然植物園教授、能美洋介：岡山理大・生物地球学部教授 正木智美：岡山理大・非常勤講師</p> <p>現地講師 松本 毅：岡山理大・非常勤講師（屋久島野外活動総合センター所属） 小原比呂志：岡山理大・非常勤講師（屋久島野外活動総合センター所属） 市川 聡：岡山理大・非常勤講師（屋久島野外活動総合センター所属）</p> <p>参加学生：24名 岡山大(4年1名、1年1名)、岡山理科大学1年23名</p>			
報告事項			
<p>1. 実習コースの決定と班分け：応募者と面談して、履修目的・希望を確認し、エコツーリズムコース（ETC）とフィールドワークコース（FWC）への振り分けを行った。各コース内で4～6名ずつの班分けをおこなった。</p> <p>ETC（2班10名）：読図、スノーケリング、森歩きを通して、屋久島の自然の成り立ちと仕組みを体験的に学ぶとともに、エコツアーの理念の習得を目的にした。</p> <p>FWC（3班14名）：読図、山中泊登山、沢登りを通して野外活動の技法習得を目的にした。</p> <p>2. 事前講習：下記をおこなった。</p> <p>説明・講習会（4月26日、10am～3pm、岡山理科大学10学舎） 内容：参加者自己紹介、実習の概要と旅行傷害保険の説明、班ごとの炊事共同作業。</p> <p>野外講習（5月16-17日、岡山理科大学自然植物園） 内容：全員を対象に、野外でのキャンプ講習を行った。</p> <p>スノーケリング講習（6月末～7月、インナースペース：岡山市東区君津） 内容：エコツーリズムコースの学生がスノーケリングの基礎技術に関する指導を受けた。</p> <p>3. 屋久島実習内容</p> <p>9/1：屋久島の宿舎に現地集合。夜、小原講師による「屋久島の自然」の講義。</p> <p>9/2：全員：1/2.5万地形図とコンパスを用いた読図演習と滝や海岸露頭で地質観察。</p> <p>9/3：エコツーリズムコース：中間針葉樹林である屋久杉の森歩き（ヤクスギランド）。 フィールドワークコース：山中泊（淀川小屋）。</p> <p>9/4：エコツーリズムコース：スノーケリングによる磯の生物観察（一湊海岸）。 フィールドワークコース：登山（黒味岳）。</p> <p>9/5：エコツーリズムコース：照葉樹林と生育する動物の観察（西部林道）。 フィールドワークコース：沢登り（鈴川）。</p> <p>9/6：朝食後、現地解散。</p>			

4. 事後講習（9月26日，1pm～3pm，岡山理科大学 10 学舎 11052 教室）

実習終了後，各学生が「実習報告と私のエコツアー企画」のテーマで，ワードとパワーポイントを使用したレポート作成を行い，その指導を行った。報告会では，それぞれが作成したレポートをパワーポイントで発表し，全員で相互採点を行った。

感想（1）：自然をそのまま残すなら，登山の時のような生活をしないと無理なのだとおもうと環境を守ることは難しいことなのだと感じた

感想（2）：予備知識があることでフィールドワークをするなかで些細なことにも気付くことができ，自分の専門分野だけでなく色々な人とフィールドに出ると視点が全く違って世界が広がる，そしてまだだれも知らないことを追求するのはとても楽しいということを学んだ。

平成 27 年度科学トライアングル岡山 先進科学講義
— 屋久島実習の記録 —



写真 1. 好天に恵まれた黒味岳登山（FWC）。



写真 2. 西部林道の亜熱帯性植物観察（ETC）。



写真 3. 鈴川キャニオニング：救助訓練（FWC）。